

**製品名: LUC7L2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab13485**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	47kDa

**抗原情報**

遺伝子名	LUC7L2
別名	LUC7L2; CGI-59; CGI-74; Putative RNA-binding protein Luc7-like 2
遺伝子 ID	51631.0
SwissProt ID	Q9Y383
免疫原	抗血清はヒト LUC7L2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 129-178

**背景**

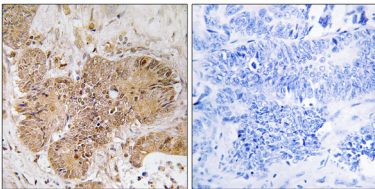
この遺伝子は、C2H2 型ジンクフィンガー、コイルドコイル領域、およびアルギニン・セリンリッチ (RS) ドメインを含むタンパク質をコードしています。マウスでは類似のタンパク質がナトリウムチャンネルモディファイアー 1 と相互作用し、コードされているタ

ンパク質は、U1 snRNP スプライソソームサブユニットと関連して、非コンセンサススプライドナー部位の認識に関与している可能性があります。この遺伝子には、複数のアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが観察されています。[RefSeq 提供、2011 年 9 月],機能: Arg/Ser リッチドメインを介して RNA に結合する可能性があります。転写産物: DNA 損傷時に、おそらく ATM または ATR によってリン酸化されます。類似性: Luc7 ファミリーに属します。類似性: 1 つの C2H2 型ジンクフィンガーを含みます。、

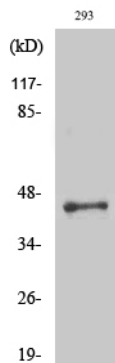
## 研究分野

-

## 画像データ



LUC7L2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



LUC7L2 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析